

## 次世代中型機「7E7シリーズ」のエンジンを「Trent 1000」に決定

～燃料効率にすぐれ、騒音・環境への配慮も兼ね備えた次世代エンジンを搭載～

ANAでは、本日2004年10月13日(水)に開催した取締役会にて、2008年度より導入予定の「ボーイング7E7シリーズ」(7E7-3型機・短距離用、7E7-8型機・長距離用)に装着するエンジンを、Rolls-Royce社の「Trent 1000」に決定いたしました。

「7E7シリーズ」は、羽田空港再拡張の時期を睨み、現在使用している中型機ボーイング767-300型機の後継機種として50機導入することを、本年4月に決定いたしました。

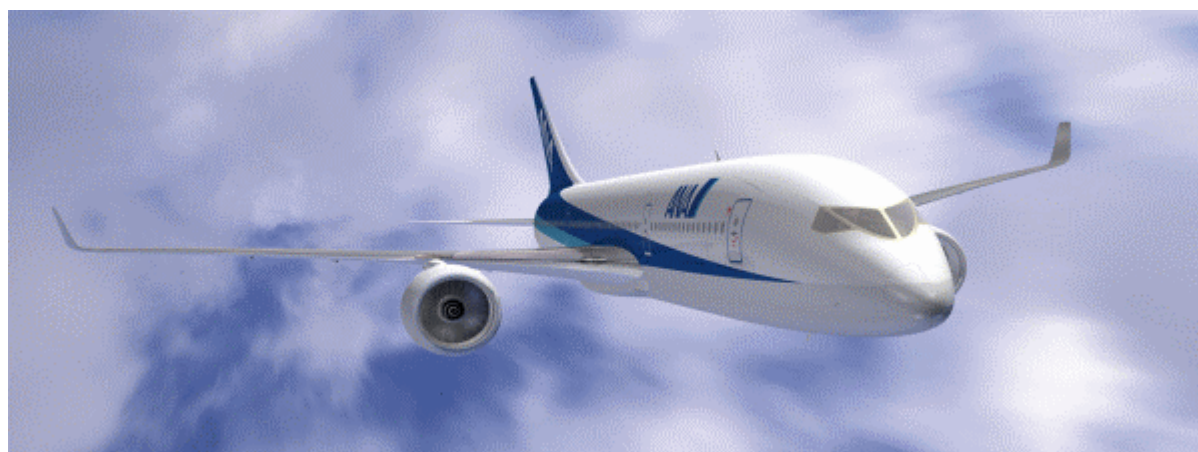
ANAでは、7E7導入の決定後に、本年5月19日、7E7エンジン選定委員会を設置し、7E7の搭載エンジンについて、GE社の「GEnx」とRolls-Royce社の「Trent 1000」を対象に選定を進めてまいりました。

「Trent 1000」は、安全性・信頼性のもとより、騒音・排ガス等の環境問題への対応、当社運航環境における運航性能、燃料効率等の経済性の面で、高い水準を有していると判断し、今回の決定にいたしました。

なお、「7E7-3型機、Trent 1000」のイメージ図及び「7E7シリーズ、Trent 1000」の諸元は次頁をご参照下さい。

以上

<7E7-3型機イメージ図>



<7E7-3(短距離用)、7E7-8(長距離用)型機諸元>

	7E7-3 型機	7E7-8 型機	(参考)767-300ER型機
全長	55.5m		55.0m
全高	16.5m		15.9m
全幅	51.6m	58.8m	47.6m
客室幅(※1)	5.2m		4.5m
座席数(当社仕様案)	約 300(モノクラス)	約 230(2クラス)	約 216 (2クラス)
貨物室容量	約16ton		約10ton
装備エンジン	Rolls-Royce社製 Trent 1000		GE社製 CF6-80C2
巡航速度	M0.85		M0.80
航続距離(※2)	約 2,200km(上海)	約 11,000km(米西海岸)	約 7,400km(ホルル)
運用最大高度	約 13,000m		

(※1) 客室床面から約 1.3m(肩の高さ)での客室幅

(※2) 航続距離は最大搭載(満席+最大貨物量搭載)で就航可能な距離

<Rolls-Royce社製エンジン Trent 1000 イメージ図及び諸元>



エンジン諸元	
定格推力	53,000-70,000 ポンド
バイパス比	11.0
圧縮比	47.7
ファン直径	2.8m
全長	3.9m
構造	3軸、23段

以上